

令和元年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校PTA
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	46人

1. 使用状況

寄贈物品名	ボッチャボール
使用学年及び人数	高等部1～3年生
使用頻度	年15回程度
使用状況	今年度は、東京パラリンピック2020 静岡県教育推進校として7月～10月に重点的にボッチャについて学び実践を行った。 主に総合的な探究の時間や保健体育で使用した。 ・校内ボッチャ大会で使用 ・高等学校との交流で使用 レクリエーション活動や休み時間にも使用。
物品の使用による変化や効果	昨年度から継続的に使用し、ボッチャ競技を実施することで、パラリンピックやボッチャ競技への啓発、興味関心が高まり、生徒の技術の向上も見られ、より意欲的な学習につながった。 ボッチャ大会においては、体育委員会を中心に生徒が計画、運営することでより主体的な活動になった。 生徒同士、投げ方や狙う位置等を自分自身で良く考え実践にうつしたり、チーム内の仲間と相談したりする戦術的な取組へと高まった。ルールについても理解が深まり、審判も自分たちで行うことができるようになった。 併設する高等学校との交流での取組においては、皆で楽しめると共に、分校生の技術の向上を披露することができ、共生・共育にも大きな効果が見られた。
今後の活用の見通しや課題	今後も継続的に活用を行い、校内でボッチャ大会を実施する等、生徒がより技術や戦術を駆使しチームプレイの向上をねらえる機会やパラスポーツに親しむ機会を設けていきたい。 誰もが楽しめるパラスポーツ競技として、ボッチャを通して高等学校以外との交流の機会を計画的に設け、共生社会に向けた取組を行っていきたい。
その他希望や所感など	実態に幅のある知的障害の生徒同士や高校生と競技を実施する中で力量差がなく、一緒に盛り上がり取り組むことができるボッチャは、共生社会に向けた取組の一環として効果を感じている。

【生徒の感想】

- ・ジャックボールにボールを近づけるのが難しかったです。
- ・ボッチャ大会で負けた時には悔しかったです。
- ・すぎむライジングをやりたいです。
- ・ボッチャを初めてやって、とても楽しかったです。
- ・ボッチャのルールを知ることができました。
- ・パラリンピックのボッチャの選手達がすごかったです。
- ・みんなで楽しくやれました。
- ・ボッチャ大会で優勝したことが思い出になりました。
- ・何回も練習してうまくなりました。
- ・ボッチャ大会では、点が取れず悔しかったです。
- ・力の加減が難しかったけど、楽しかったです。
- ・チームで協力して勝って嬉しかったです。
- ・ボッチャ大会では優勝できなかったけれど、ボッチャに興味をもちました。

【ボッチャ大会の様子】



【高等学校とのボッチャ交流の感想】

○伊豆田方分校生徒

- ・田農生と一緒にやってみて、田農生は投げるのが上手な人が多いんだなと分かりました。
- ・田農生と一緒にボッチャ交流ができて楽しかったです。 大多数意見
- ・負けてしまったけど、楽しかったです。

○田方農業高校生徒

- ・みんなで夢中にボッチャをして楽しかった！
- ・分校生はボッチャがうまい！
- ・どんどん、みんなの笑顔が増えました。
- ・初めてボッチャをやってみて、ルールも簡単で楽しくできるスポーツだなと思いました。
- ・分校のみんなは、ボッチャが上手で、沢山サポートしてくれて楽しくできました。
- ・分校生はピタリと寄せたり、はじいたりして、とても上手くてすごいと思いました。
- ・ペアの子とボッチャをやりながら話すことができて楽しかったです。
- ・良いボールが最後投げることができたし、少しは分校さんとの心の距離が近くなれたと思うので良かったです。

【高等学校との交流の様子】

